



道徳科の授業づくりのポイント



1 道徳科の成果・課題

2 道徳科の目標

3 授業づくりのポイント



1 道徳科の成果・課題

1 道徳科の成果・課題（令和3年度道徳教育実施状況調査）

【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化

1.「道徳の時間」に比べて児童生徒の「道徳科」の学習意欲が高まった

2.児童生徒同士による話し合いや議論が活発になった

3.道徳教育に対する教師の意識が高まった

4.学校として育てようとする児童生徒像をより意識して指導するようになった

5.より体系的な指導が行えるようになった

6.学校や児童生徒の実態を踏まえた指導がしやすくなった

7.各教科等や体験活動との関連が図られるようになった

8.評価することで、児童生徒の成長が把握でき、指導の効果が実感できるようになった

9.「道徳の時間」に比べて「道徳科」の授業公開の機会が増えた

10.家庭や地域社会からの理解がより得られやすくなった

■1) とてもそう思う

■2) どちらかというと思う

■3) どちらかというと思わない

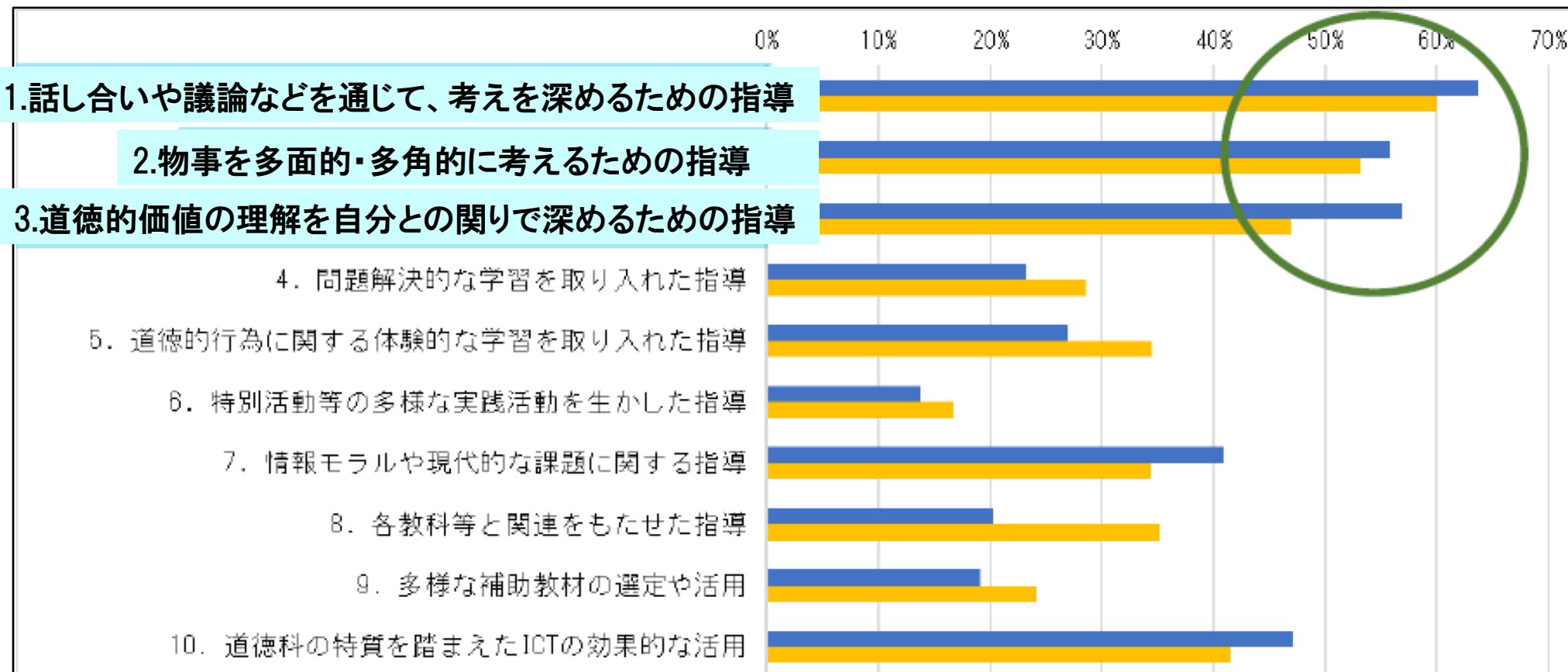
■4) 全くそう思わない

上段：小学校、下段：中学校



1 道徳科の成果・課題（令和3年度道徳教育実施状況調査）

【設問6】道徳科の授業をする上での課題（複数回答可）



■ 小学校
■ 中学校

「考え、議論する道徳」

「自分事として考える」

▲読み物道徳

登場人物の心情理解に終始する授業

「多様な視点から話し合う」

▲押し付け道徳

望ましいと思われること、決まりきったことを言わせたり、書かせたりする授業

難しさは
ありませんか？



2 道徳科の目標

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

道徳性の諸様相

道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

良いことと悪いことの判断ができていない…

道徳的心情

善を行うことを喜び、悪を憎む感情

きまりを守ることの大切さをもっと感じさせたい…

道徳的実践意欲と態度

道徳的判断力や道徳的心情をもとにした、具体的な行為への意志や身構え

よいと思うことを行う意欲や態度を高めたい…

児童の実態から道徳性の諸様相のねらいを定める

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2 道徳科の目標

道徳的諸価値についての理解を基に、…

■ 価値理解…【大切さ】

人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること

■ 人間理解…【難しさ】

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること

■ 他者理解…【多様さ】

道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は多様であるということを理解すること

価値理解だけでなく、人間理解、他者理解を含む学習が重要

2 道徳科の目標

「特別の教科道徳」の目標（抜粋）

■価値理解…【大切さ】 ■人間理解…【難しさ】 ■他者理解…【多様さ】

道徳的諸価値についての理解を基に、
自己を見つめ、物事を多面的・多角的に
考え、自己の生き方についての考えを深
める学習を通して、道徳的な判断力、心
情、実践意欲と態度を育てる。



3 授業づくりのポイント

ねらいや指導内容についての教師の捉え方を明確にする。

道徳的価値

ねらいや指導内容に関連する児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願いを明確にする。

児童生徒の実態

使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法を明確にする。

教材の活用

明確な指導の意図

3 授業づくりのポイント

①教材の活用

②中心発問

③発問構成

3 授業づくりのポイント

①教材の活用

第3学年

児童の実態



友達との仲を気にして、
伝えたいことを我慢してしまう

道徳的価値の捉え

B友情、信頼

友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。
→「**友達を信頼しなんでも伝え合うことの価値**」

ねらいとする道徳的価値を踏まえ、
どのような場面や登場人物の行為
について考えさせるのか明確にする

「絵葉書と切手」



知らせるべきというお兄ちゃん

まよってしまったひろ子さん

知らせようと決心したひろ子さん



3 授業づくりのポイント

②中心発問

イ 発問の工夫

教師による発問は，児童が自分との関わりで道徳的価値を理解したり，自己を見つめたり，物事を多面的・多角的に考えたりするための思考や話し合いを深める上で重要である。

小学校学習指導要領道徳編(P84-85)道徳科に生かす指導方法の工夫

児童

自己を見つめ，多面的・多角的に考える



◎中心発問



教材の活用



道徳的価値を踏まえた登場人物の行為

3 授業づくりのポイント

②中心発問

- ・知らせるべきと言うお兄ちゃん
- ・迷ってしまったひろ子さん
- ・知らせようと決心したひろ子さん

どう問うか？



道徳的判断力

Aは、～だから、～したと思う。
Aの行為はいい(悪い)と思う。理由は～だから。

道徳的心情

Aのような気持ちを持てるのは、素敵だなあ。
Aは、～のような気持ちでつらかったらうなあ。



道徳的实践意欲と態度

Aみたいなことができる自分になりたいなあ。
Aのように、～をやってみよう。

道徳的判断力

道徳的心情

道徳的实践意欲と態度

どの様相の育成を
ねらうか明確にする

Point!



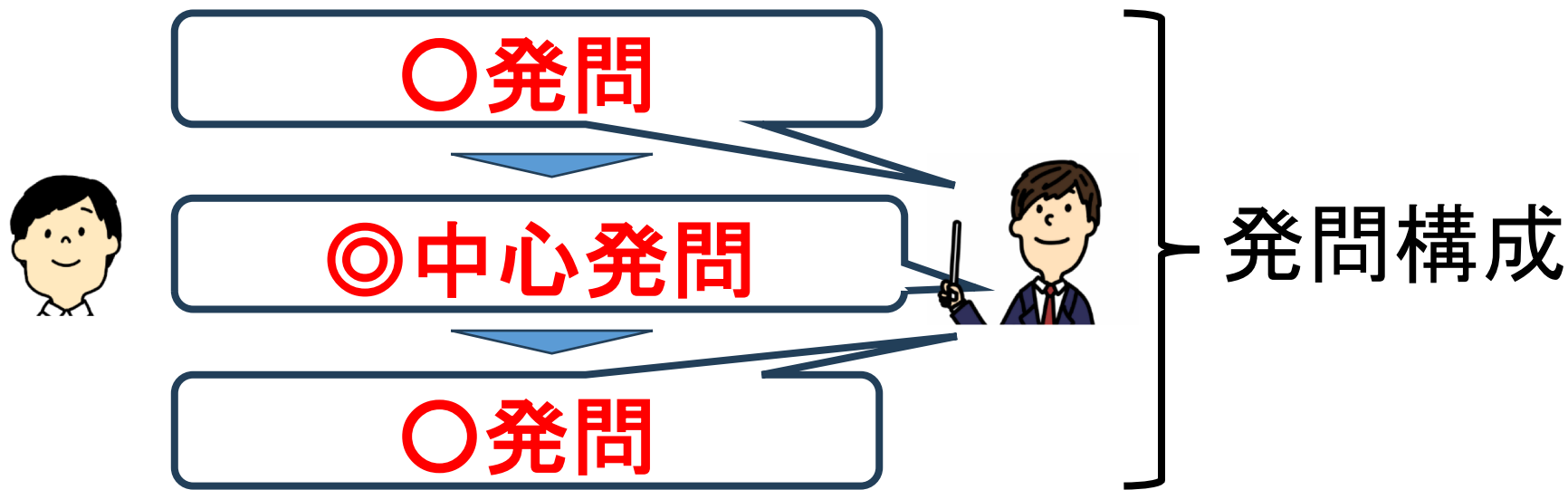
3 授業づくりのポイント

③発問構成

イ 発問の工夫

（中略）発問を構成する場合には、授業のねらいに深く関わる中心的な発問をまず考え、次にそれを生かすためにその前後の発問を考え、全体を一体的に捉えるようにするという手順が有効な場合が多い。

小学校学習指導要領道徳編(P84-85)道徳科に生かす指導方法の工夫



3 授業づくりのポイント

③発問構成



○ 友達にはなんでも言い合える？ 友達だからこそ言いにくいことはある？

互いに信頼し合う友情の難しさを考えさせる【難しさ】



◎ 迷ってしまったひろ子さんはどんな気持ちだったでしょう？

ひろ子さんの迷う気持ちを自分の経験と照らし合わせながら考えさせる【難しさ】【多様さ】



○ ひろ子さんはどんな気持ちで知らせようと決心したのでしょうか？

ねらいとする道徳的価値についての考えを深める【大切さ】



中心発問を生かすための前後の展開を考える

3 授業づくりのポイント

①教材の活用



ねらいとする道徳的価値を踏まえ、**どのような場面や登場人物の行為について考えさせるのか**を明確にする

②中心発問



道徳的判断力

道徳的心情

道徳的实践意欲と態度

▶どの様相の育成を
ねらうか明確にする

③発問構成



中心発問を生かすための前後の展開を考える

(参考資料)

「絵葉書と切手」を活用した「道徳教育アーカイブ」の 実践事例をご覧ください



※文部科学省が運営する道徳の授業づくりを支援するためのウェブサイト

<https://doutoku.mext.go.jp/>

小学校第3学年

【主題】 信頼し合う友達関係っていいな(友情, 信頼)

【教材】 「絵葉書と切手」出典:「みんなのどうとく3」Gakken

内容項目: B友情、信頼	友達と互いに理解し、信頼し、 助け合うこと(第3学年及び第4学年)
--------------	--------------------------------------

児童の実態: 友達との仲を気にして、伝えたいことを我慢してしまう 児童がいる。
--